

沖縄・伊是名島

耕田而食

田を耕しては食料を得る

鑿井而飲

井戸を掘っては水を飲み、

日が没すると家に帰って休む、

日入而息

日出而作

日が出るとともに働きに出かけ、

ぬり絵から真っ白なキャンバスへ

第2回 農的暮らしキャンプ

「農的暮らし体験プログラム」は「農的暮らしキャンプ」と名称が替わりました。

かつて「島の民家」は農業と共にありました。座敷は畳を上げれば雨の日に稲を干す場所になり、家の縁側は時として収穫の時期や作付けの段取りを話し合う場所となり、自然とのつきあい方、技の伝承の場所でもあったのです。

農家の仕事は田畑での作業だけでなく、家事や家の修繕、近所の人との話し合いや支え合い、喜びの分かち合い、すべてが農家の仕事「農的営み」としてありました。

本プログラムは、島の風が運営する再生古民家に寝泊まりし、農作業の体験だけでなく一日二十四時間を「農的営み」として体験するプログラムです。

「古民家再生プロジェクト」連携プログラム

2012年2月16日～20日(4泊5日)

参加者募集(13名限定)

定員に達し次第
締め切ります。

詳しいお問い合わせは

NPOエクスブリッジ 098-890-2330

NPO法人島の風 0980-50-7330